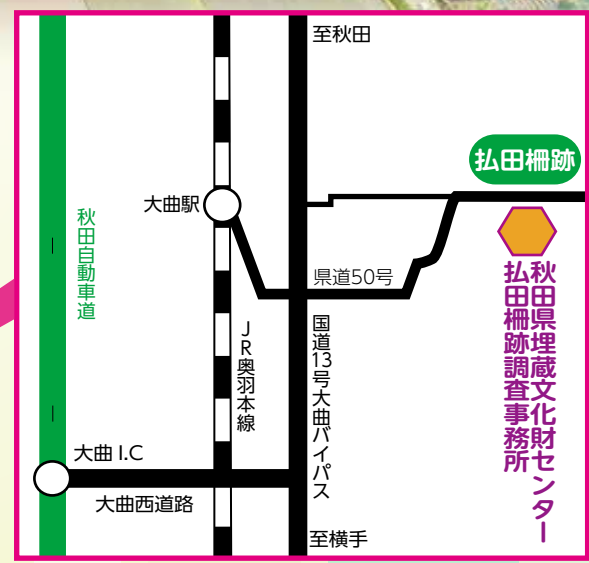
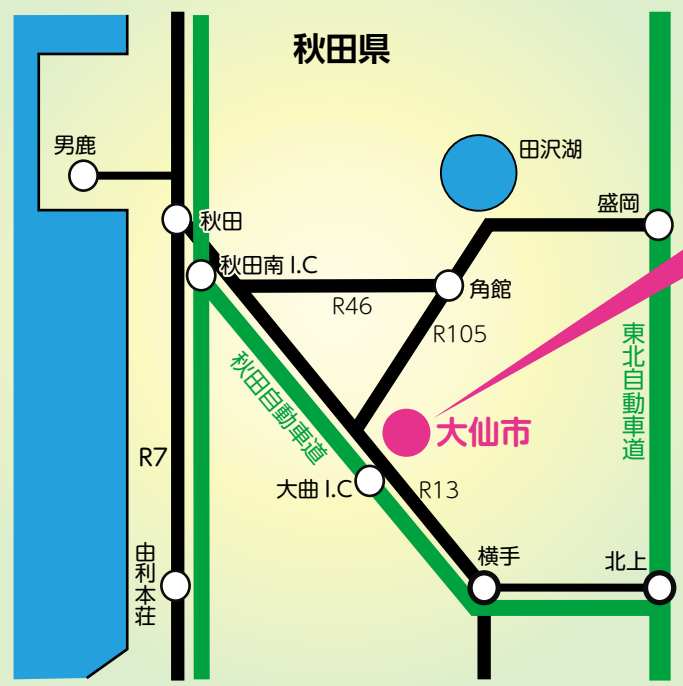


秋田県埋蔵文化財センター



秋田県埋蔵文化財センター案内図



交通アクセス：秋田自動車道大曲インターから大曲西道路を東へ車で15分。
JR大曲駅より羽後交通バス「川口行き」で20分、「埋蔵文化財センター前」下車。



交通アクセス：秋田自動車道秋田南インターから車で30分。
JR新屋駅より、徒歩30分。

秋田県埋蔵文化財センター 弘田柵跡調査事務所

〒014-0802 大仙市弘田字牛嶋20番地
TEL 0187(69)3331 FAX 0187(69)3330

休館日 1/1~1/3・12/28~12/31
成人の日・建国記念の日・春分の日

秋田県埋蔵文化財センター中央調査班

〒010-1621 秋田市新屋栗田町11番1号
TEL 018(893)3901 FAX 018(893)3899

施設要覧
Akita Archaeological Center

秋田県埋蔵文化財センターの役割

秋田県埋蔵文化財センターは、埋蔵文化財の調査、研究、出土品の整理及び収蔵を目的として、昭和56年10月に設立されました。平成20年には資料管理活用班が設置され、それまで行っていた遺跡見学会や埋蔵文化財発掘調査報告会などに加え、企画展や講演会、古代発見バスツアーの開催、セカンドスクールや出前授業への対応など、埋蔵文化財を活用した普及事業も推進しています。また、目の前には、国指定史跡「払田柵跡」の復元された外柵南門がその偉容を誇って建っており、払田柵跡調査事務所による学術調査が継続的に行われています。

秋田県埋蔵文化財センターは、県内における埋蔵文化財の保護と活用に関する中心的な役割を果たしています。

埋蔵文化財の調査・研究



発掘現場の見学会



発掘調査

出土品の整理と収蔵



整理作業



特別展示室

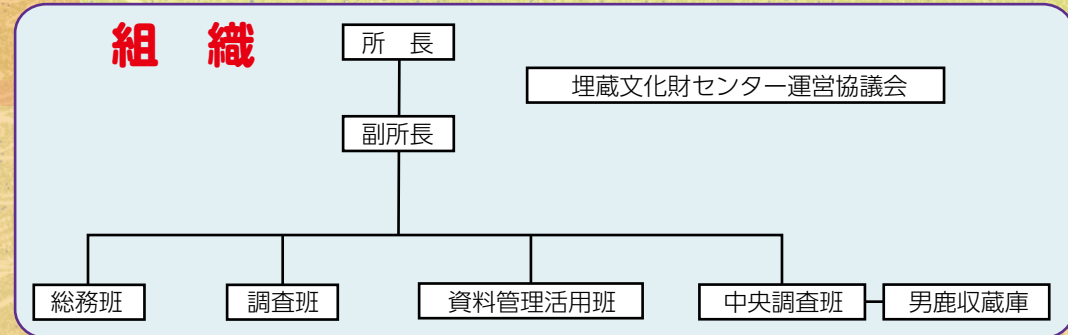
埋蔵文化財の活用と普及



出前授業



男鹿収蔵庫



沿革

- 昭和56年10月 開館、業務開始
- 昭和56年11月 落成記念式典挙行
- 平成5年1月 第二収蔵庫完成
- 平成10年4月 北秋田市(旧鷹巣町)に秋田北分室開設
- 平成11年12月 秋田市に秋田整理室開設
- 平成12年4月 秋田整理室が秋田中央分室となる
- 平成13年4月 機構改革により南調査課、北調査課、中央調査課の3課体制となる
- 平成13年6月 秋田県甘肅省文化交流事業により交流員の相互派遣開始
- 平成14年3月 設立20周年記念式典挙行
- 平成15年10月 秋田県甘肅省文化交流事業磨嘴子遺跡合同発掘調査開始
- 平成17年4月 男鹿市に中央調査課男鹿整理収蔵室開設
- 平成20年4月 機構改革により総務班、調査班、資料管理活用班、中央調査班の4班体制となる
- 平成22年7月 中央調査班を男鹿市から秋田市に移転
- 平成24年3月 設立30周年記念式典挙行

施設の概要

- 【センター】** (総務班・調査班・資料管理活用班)
- ・所在地 〒014-0802 秋田県大仙市払田字牛嶋20
 - ・敷地面積 6,962.00㎡
 - ・延床面積 2,244.76㎡
 - ・構造 鉄筋コンクリート2階建
- 【中央調査班】**
- ・所在地 〒010-1621 秋田県秋田市新屋栗田町11-1
 - ・延床面積 2,141.00㎡
 - ・構造 鉄筋コンクリート平屋建
- 【男鹿収蔵庫】**
- ・所在地 〒010-0502 秋田県男鹿市船川港比詰字餅ヶ沢200
 - ・敷地面積 55,521.00㎡
 - ・延床面積 7,524.36㎡
 - ・構造 鉄筋コンクリート3階建

平面図

1階の主な施設

①	玄関ホール
②	総務室
③	所長室
④	特別展示室
⑤	第一整理室
⑥	トイレ
⑦	第一収蔵庫
⑧	第二収蔵庫

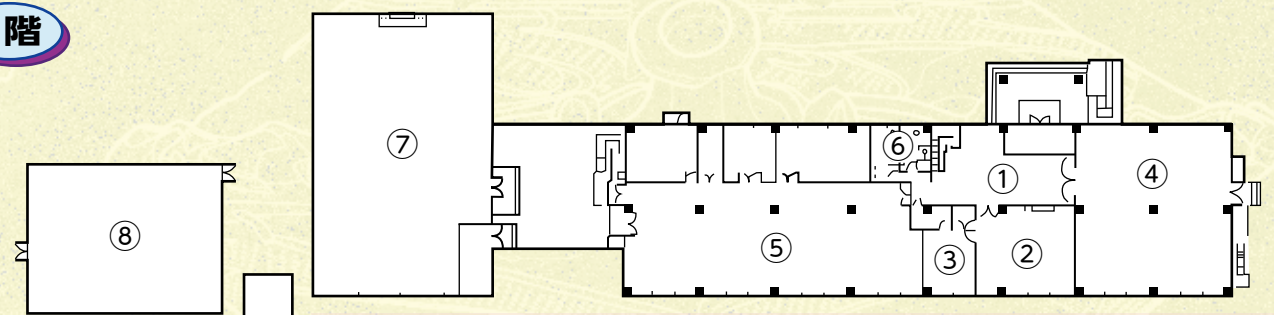
1階 1,485.40㎡

2階の主な施設

⑨	資料室
⑩	第一研修室
⑪	第二研修室
⑫	第二整理室
⑬	休憩室
⑭	トイレ

2階 759.36㎡

1階



2階

